

元気なまちづくり市民講座

—子どもと地域・社会科を考える—

平成 25 年 2 月 23 日 (土) 参加費：無料

会場：館山市立富崎小学校体育館 JRバス[相浜]下車、徒歩5分

*ワークショップ 12:00~13:30

*青木繁が滞在した明治期の富崎(布良・相浜)を知ろう！

日露戦争が起きた 1904 年夏。青木繁はマグロ延縄漁発祥の漁村・布良で名画《海の幸》を描きました。滞在した小谷家住宅から大量に見つかった古文書から、日本の近代水産業発展に関わる歴史が明らかになってきました。100 年前の海図や重要水産動植物図、日本に亡命し館山に隠棲した李氏朝鮮の末裔が残した書画や、かつての漁村写真なども展示されます。

*糸を紡いでみよう！

日本の糸車やインドのガンジーが使った折りたたみ式糸車で、綿から糸を紡いでみましょう。

*房州地布縞帳の展示

かつて漁村の女性たちが糸を紡ぎ染め、織りあげた房州地布は「じんの」と呼ばれていました。工夫をこらした縞柄の小裂見本帳を紹介します。

*錬金術を体験しよう！

イスラム科学の錬金術では、銅貨を銀貨にし、最後には光った金貨にすることができます。

*ベトナムフェア

ベトナムの「子どもの家」やフルー小学校、カトゥー族との交流を、ベトナムのコーヒーやお菓子とともに紹介します。

*旭市の津波被災報告

千葉県旭市は、3.11 東日本大震災の津波被災地です。ここ富崎地区もまた大正・江戸期の津波被災地です。痛みを分かち合い、ともに教訓を学びましょう。13:10 から「いいおか津波復興プロジェクト」の報告と紙芝居「防災あかずきん」をご紹介します。

*安房南のウガンダ支援交流

旧県立安房南高校の生徒会活動から始まったウガンダ支援活動は、同校の統廃合後も今なお、市民活動のチャリティとともに 20 年にわたって続いています。ウガンダ安房南洋裁学校の状況を報告します。

*ところてん体験と試食

地元の天草で手作りのごっつお！

*地域実践報告 13:30~14:00

「3つの“あ”のまちづくり～青木繁《海の幸》・安房節・アジのひらき」

池田恵美子 (NPO法人安房文化遺産フォーラム事務局長)

*シンポジウム 14:00~15:30

「文化遺産を活かした館山まるごと博物館」

愛沢伸雄 (NPO法人安房文化遺産フォーラム代表)

島田吉廣 (布良崎神社神輿世話人・布良漁協組合長)

鄭一止 (東京大学大学院韓国留学生・神奈川大学助手)

高野良裕 (元館山病院院長・徳洲会最高顧問)

主催：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会/NPO法人安房文化遺産フォーラム

TEL&FAX:0470-22-8271 awabunka@awa.or.jp

共催：富崎地区コミュニティ委員会/千葉県歴史教育者協議会



文化庁 平成 24 年度地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業

<同時開催>

千葉県歴史教育研究集会安房集会

2月23日(土)15:50~17:50/24日(日)9:00~12:30

参加費：市民・学生 1,000 円、教員 2,000 円、高校生以下無料
会場：安房自然村・名主の館 (詳細は <http://bunka-isan.awa.jp/>)

千葉県歴史教育者協議会が 16 年ぶりに開催する安房集会。「小学校」「中学校」「日本史」「世界史」「地域の掘りおこし」「平和と民主主義」がテーマの各分科会で、実り多い実践報告を聞くことができます。

青木繁《海の幸》ウォーキング

2月24日(日) 13:30~15:30

集合:JRバス停「安房自然村」参加費 500 円

青木繁が滞在した「小谷家住宅」、《海の幸》記念碑、布良崎神社、房総開拓神アメントミノミコト(天富命)の上陸地といわれる阿由戸の浜…など、ゆかりの地をめぐる。